

紫竹ガーデンでできること

朝食と紫竹おばあちゃん

「紫竹ガーデン」への来園の際には、ここを作った女性との出会い、朝食、そして庭自体の散策の3つを体験することが含まれるべきでしょう。

「紫竹おばあちゃん」として知られる紫竹昭葉さんは、紫竹ガーデンの創設者であり家長です。紫竹おばあちゃんは、90代になっても、来園者との挨拶を楽しみ、いつも笑顔で写真を撮っています。おばあちゃんはこのようなことをすべて行うために頻繁に在園しています。

2つ目は朝食ビュッフェです。午前中は、畑で採れたての野菜、魚、肉、果物、焼き菓子など家庭料理で盛りだくさんのテーブルが並びます。料理がなくなると、代わりに新しいものが並びます。

日替わりメニューは、多くが、庭で収穫されたり近隣の人や他の地元の人々から提供されたりしたものなど、季節の収穫によって変わります。伝統的な和朝食に限らず、洋食でおなじみのローストやパストリーなどもあります。

朝食を食べ損ねた人は、朝食で使い切れなかったものを組み込んだお弁当を前もって購入することができます。パティオや庭の他の場所にランチを持っていき、のんびりとしたピクニックをするのは人気があります。ベンチやピクニックテーブルなど、日向でも日陰でも食事をする場所がたくさんあります。

もう一つは、来園者は庭園で花を摘むことができるということです。これで、美しい草原で花を集め、花束を家に持って帰るという子供の頃の夢がかなう人もいます。